

(2024 年度 第 07 回) さくら山王自治会 班長会議事録

開催日時：2024 年 10 月 19 日 15:30～16:45

場所：山王集会所

参加：41 名 欠席：12 名

【総務部挨拶】

ただいまから班長会議を開催いたします。本日班長定数 53 名のところ、41 名参加 12 名欠席です。3 分の 2 を上回っておりますので、今回の決議は有効となります。この後は会長の方で、議事進行させていただきますので、会長よろしくお願いします。

1. 会長案件

1.1 赤い羽根募金活動の終了に関する周知

《報告》

- ・ 前回の議論に基づき、赤い羽根募金をやめることを決定。各会員に対して背景と理由について回覧にて説明する
- ・ 自治会が支出している寄付金は以下の 3 項目：
 - 消防団の後援会費：40 万円
 - 社会福祉協議会の会費：20 万円
 - 日本赤十字社（日赤）への会費：20 万円
- ・ 社会福祉協議会の活動費は地域密着のため、地域還元が大きいですが、日赤の会費は世界的な活動に使われ、地域還元が少ない。
- ・ 日赤の 20 万円の寄付金をやめ、地域密着の活動に振り分けることを提案したい。地域とのつながりが深い社協の方に資金を配分することが望ましい。
- ・ 日赤の寄付金をやめる方法は、振込を行わないという簡単な手続きで可能。今後の対応として、地域に有効活用できる形での資金配分を提案。
- ・ 今回は提案の概要のみ説明し、詳細な議論は今後の会議で行う予定。

1.2 消防団後援会費について

《報告》

■概要

- ・ 消防団後援会費について、過去、寄付金のあり方について活動された当事者の方から、消防団後援会費に関する内容で面談を要請された。事実誤認を防ぐ観点から過去の議論や消防団後援会費に関する経緯について情報共有をする。
- ・ 当事者の主な主張は以下 3 点。
 - ・ 40 万円の消防団後援会費を半額にし、隣接する大篠塚にも支援することを提案。
 - ・ 寄付金が飲食に使われていることに対する懸念から、決算報告書の開示を請求。
 - ・ 班長会で現班長に向けた持論説明の要求
- ・ 当事者の主張に対しては、消防団との関係性維持の観点、班長会は現班長で構成している点から、すべての要望について断る対応をしている。
- ・ 当事者は、開示を求めて裁判に訴える可能性に言及している状況。

■消防団後援会費についての説明

- ・消防団後援会費の支出は全国的にも議論が多く、他自治会の間でも賛否があり裁判に発展したこともある。佐倉市においては、市から消防団後援会費に関する見解があり、その内容を班長配布資料に記載している。
- ・過去に同様の議論があり混乱した経緯があるため、班長にも経緯を共有して理解を深めてほしいという意図で資料を作成した。班の方から消防団後援会費について質問があれば、この資料を共有していただきたい。
- ・質問があれば、次回の班長会で質問していただいても、会長に直接連絡してもかまわない。

1.2 山王地区計画について

- ・前回の班長会で山王地区計画の見直しについて説明をした。今回は皆さんからの意見を聞きたい。

《質疑応答》

- (意見) 地区計画を見直す件の発議はどこからなのか。会長なのか、それとも地権者からの要請なのか？
- (会長) 地権者からではなく周辺住民から現在の地区の状態について相談を受けたことであり、それを受けて私が発議することとした。10年ごとの見直しが規定されているが、20年以上放置されている現状である。自治会として、地区のメインストリートの状況を放置せずに改善の議論を進めたい。
- (意見) 山王地区の地価が低く人気がない原因として、商業施設の不足があるのでは。商業用地を住宅用地に変更すると、地権者が売却しやすくなるが、商業施設誘致の可能性が減る懸念がある。
- (会長) 街づくりの点から、商業施設誘致や地域活性化の可能性について、意見を募り議論を進めることが重要である。自治会は、住民代表として地区の活性化を議論する場でもある。班長会を通じて住民の声を集め、山王地区の将来に向けた議論を深めていきたい。
- (意見) 地権者や居住者の意思を尊重し、自治会が一方向的に進めるべきではないのでは。
- (会長) 地区全体の未来を考えるために、現状や住民の意見を確認する必要がある。自治会が主体的に地域活性化や街づくりを推進するべきで、住民代表としての役割がある。自治会はただの管理組合ではなく、地域全体の生活環境を向上させるために、積極的な役割を担うべきだと思う。
- (意見) 検討会を設けることには同意し、詳細な議論の場を持つことに賛成する。
- (意見) 1人が反対しても、全体の3分の2以上の同意があれば計画の変更は可能か。また、規制区域の地権者が反対しても、全体の3分の2以上の同意があれば改定が進められるのか。
- (会長) 地区計画の改定には、地権者数と土地面積の3分の2以上の同意が必要。規制区域の地権者が反対しても改定ができる。しかし、法的に可能であっても、規制区域の地権者の意見を尊重し、合意形成を図ることが重要である。多数決だけで決めず、地権者と話し合いを行い、山王地区全体のコミュニティづくりを進めたいと考えている。
- (意見) 1丁目には空き地が多く、郵便局など一部の施設のみが営業している状況。地域の特徴を踏まえた計画の見直しが必要と考える。また、20年近くシャッター通りの状態が続いており、商業施設の再建の見込みが低い。商業地を住宅地に用途変更し、住民を増やす方針が良いのでは。

- (意見) 地権者の中には、税金が上がるなどの理由で現状のままを望む可能性がある。
- (意見) 地権者の意向を調査することは重要である。
- (意見) 数年の猶予を設けて商業地としての可能性を残し、経済状況によっては用途変更を検討する時限立法は可能なのか。
- (会長) 条例の見直しには手続きが必要である。いただいた意見についてはテクニカルな点がふくまれるためわからない。
- (意見) まちづくり検討委員会を設立し、現状の把握と住民意見の聴取から始めることはどうか。
- (会長) 委員会を設けることで議論が長期化し、実際の進捗が不明瞭になる可能性がある。委員会設立に関する結論を出す前に、班長会で引き続き議論を行う方針としたい。
- (意見) 地区計画を改定するにあたり、具体的な目標年数やタイムラインがあるか。
- (会長) 明確な年数計画はないが、改定を決めた場合は短期間で進めたい。市役所との調整も必要のため、最低 1 年単位のプロジェクトになると見込んでいる。
- (意見) 住民の意見を確認し、自治会内での合意が形成されなければ市役所に持っていくことが難しいのでは。
- (会長) 現状では「やるかどうか」を確認する段階であり、具体的な進捗はまだない。班長会でまず意思確認を行い、その上で委員会設立などの是非を決める。今回の班長会では、地区計画の見直し活動を進めるかどうか、賛否を取るか、次回まで持ち越すかを決めたい。

《採決》

- ・土地の条件緩和を目指し、街づくりのあり方を考える委員会を立ち上げ、自治会として具体的に進めていくことに賛成の方は挙手をお願いしたい。
- ⇒賛成多数（3 分の 2 以上）により、委員会を立ち上げることが決定。

2. 各部報告

2.1 行事部

《報告》

■収支報告の概要

- ・予算：1,900,000 円
- ・収入： 194,600 円
- ・支出：2,094,028 円

差引収支は 572 円の黒字。内訳については配布資料の収支報告書を見ていただきたい。
内容については、監事に領収書を確認していただいている。

■夏祭り実行委員長講話

皆さんこんにちは。昨年の行事部部長をやらせていただきました佐藤です。今年は、昨年の経験も踏まえて、経験者がお手伝いした方がより良い夏祭りになるだろうということで、企画運営委員会を立ち上げて、今年の行事部と一緒に夏祭りの実行を進めてきました。企画運営委員会には、昨年の行事部長であった私や、役員をやられていた施設部長など色々な役員の方も参加していただきました。あとは、模擬店、イベント関係者なども仲間に入っていて、今年の夏祭りを進めてきました。

今年も、昨年と同様に自治会会員からアンケートを取りましたので、簡単にアンケートの内容を説明します。回答者数は 119 件でした。全世帯は約九百数十件あるうちの 10%程度しかアンケ

ートを回答していただけなかった点、残念に思います。こちらは回答用紙をペーパーレスにして、インターネットでの回答というものにしましたので、慣れていない方もいたのかなということが反省点となります。参加状況につきましては、スライドに表示している内容の通りです。インターネット投票ということで、去年はあまりなかったのですが、25 歳以下の方が、若干ですが回答してくれた点、良かったと思います。

全体の満足度については、未回答もありますが、大変満足、満足が大半を占めていました。イベント企画、模擬店についての満足度は、それぞれ満足以上の方がおり、やや普通が若干多い回答でした。普通というのはどちらにも触れるという要素もありますので、ここは懸念点ということになります。良かったと思うイベント、模擬店については、それぞれ差はあまりなく、スライドに表示している内容となっています。今後、祭に参加したいかの質問に対し、参加したい、ぜひ参加したい、が40%以上占めています。

まとめについては、”楽しかった” ”大満足” ”子どもが楽しそう”ということで、かなり好評の意見をいただきました。ただ一方では、少子高齢化が進み、自治会会員も含めて、体力がもたないといった意見もありました。自治会のあり方、夏祭りを今後どうするのか、というような意見もありました。行事部中心に毎年ゼロスタートで夏祭りの準備をすすめていく点、あとは皆さんが、当日前日から猛暑の中準備を進める点、これらはどうなのだろうかとの懸念もありました。そもそも開催時期を変えたらどうだろうかとの意見もありました。

これらの問題に対応するためには、今の体制ですと、予算ですべてをまかなうことはできません。しかしながら、そもそも山王の夏祭りということでは自治会なくしては、不可能だと思います。今年の夏祭りは、これまでの夏祭りから大きく変化したものになりましたけれども、今後も我々有志も継続して、協力していきたいと思っています。引き続き、より良い夏祭りにしていこうという思いで回覧資料を書かせていただきました。よろしくお願いいたします。

《会長コメント》

- 今年の夏祭りの運営は、自治会の行事部、運営委員会、有志の方々が中心となって進められた。自治会そのものはボランティア活動であるが、すべてをやろうとすると限界がきてしまう。
- 行事部は夏祭りだけではなく、色々なイベントの企画運用をするなど、そういう企画プランニングの部分を担当し、それに賛同するメンバーを山王地区から集めて、色々な団体が楽しく活動できる環境が理想である。今回、そのような形で、運営委員会を作っていただいて実行していただいたのが大変よかったと思う。どうもありがとうございました。

2.2 福祉部

《報告》

- O 円バザーは以下の日時、場所で開催予定。
日時：11 月 24 日（日曜日）、9:00～15:00
場所：山王小学校
- 愛光と自治会福祉部が共同で開催。現時点で 16 店舗が参加予定。
- 自宅で余っているものがあれば参加をお願いしたい。申し込みはチラシの QR コードから可能。
- 当日の運営サポートのお願いとして各部で割り当てをお願いしている。昨年度は約 500 人が来場された。交通整理や駐車場誘導などの協力をお願いしたい。

2.3 防災部

《報告》

- ・防災訓練は以下の日時、場所で開催予定。

日時：11月9日（土曜日）、10:00～12:00

（防災部は9:00集合、役員は9:30集合、班長は9:40集合）

場所：集会所

- ・防災訓練の内容は、DVD視聴⇒消防署の講話⇒避難訓練⇒消火訓練⇒AEDを使用した救命処置訓練を予定している。
- ・下駄箱が少ないため、入口でビニール袋を配布するので各自下足を袋に入れること。また、スリッパも持参すること。
- ・避難訓練の際に椅子を片づける作業があるため、適宜、手伝いをお願いしたい。
- ・訓練参加者全員に参加賞を配布予定。
- ・防災訓練に参加することで、災害時の対応方法を学び、経験や知識を深める機会となる。班長の主な役割は訓練への参加であるため、時間があればぜひ参加してほしい。

2.4 施設部

《報告》

- ・集会所の予約システムが運用開始され、使い方に関する疑問や課題に対応。施設利用時の備え付け用紙も簡素化され、運用がスムーズに開始されている。
- ・大会議室の「1」と「2」の分け方を廃止し、「大会議室」として一括予約に変更。予約は1本化されるが、利用料金は2部屋分のため従来の2倍となる。
- ・入口に設置されたテンキーによる暗証番号（8桁）の運用を検討。現状では貸与した鍵や蛇口のキーボックスでの鍵による運用が行われているが、今後テンキーに切り替え予定。なお、キーボックスの物理鍵は非常時用として残す方針である。
- ・総務部が、利用団体に対してテンキー運用の開始について案内を行う予定。

2.5 総務部

《報告》

■今後の主な行事と準備

- ・11月の活動：防災訓練、0円バザー。次期班長選出。11月の班長会で新班長の連絡用紙を配布。新班長候補に手渡しで配布していただきたい。各部の活動報告書の作成を開始し、引き継ぎ資料の準備を進めて欲しい。
- ・12月の活動：新班長登録用紙の回収、新班長招集案内の配布。新班長の所属部の抽選案内を配布。なお、所属部決めの方法は抽選に限らず会長と総務部長で決める予定。
- ・1月の活動：議案書作成開始。各部の活動報告の確認を開始し、総会実施日について小学校と調整。新班長への招集案内を再度出す予定。
- ・2月の活動：新班長の担当決定。新班長の所属部と役員を決定し、議案書に反映。書類確認や承認のため、必要に応じて臨時会議を実施。
- ・3月の活動：決算書の作成と確認。議案書の最終確認を行い、委任状などを各戸に配布。総会の実施準備を進め、必要書類の配布を実施。

■ホームページ導入の検討内容

- ・導入費用と運用コストについては、以下の3パターンがある。
 - ・業者完全依頼：高コスト。
 - ・自作：低コストだが品質が課題。
 - ・ツール利用：初期費用 54,780 円、月額 5,390 円で業者支援のもと運用。
- ・立ち上げのコンセプトは「小さく産んで、大きく育てる」方針。
- ・段階的に内容拡充をする。まずはイベント紹介やトピックス掲載、順次ライブラリ整備へ。

《会長コメント》

- ・7 年前に一度立ち上げたが運用が続かなかった。ホームページの作成自体はテンプレート利用で比較的簡単にできる。議論の焦点は「どのように運営していくか」にある。
- ・テンプレートを使用して作成したホームページを班長の皆さんに見ていただいて、コンテンツやアイデアの議論をしながら進める予定。
- ・ホームページは、オープンアクセスとし、会員・非会員を含めて広く閲覧できるようにする。ホームページをコミュニケーションツールとしたい。2 月末以降、サークルスクエアに代わる情報共有の場としてホームページを活用したい。
- ・情報共有としては、集会所の管理規約やその他規約の閲覧。班長会や役員会の議事録の掲載。議論内容の共有化をはかりたい。

■回覧物

- ・今回の配布物は2種類あり、表面が似ているため裏面での区別が必要。配布は回覧させるのではなく、各戸にポスティングでお願いしたい。

2.6. 環境部

《報告》

- ・草刈り要望の状況：
 - 第1回調査：7月実施、22件の要望。
 - 第2回調査：10件の要望。
 - 第3回調査：12件の要望をまとめ、翌週に市役所へ要望書を提出予定。
- 対応予定：必要に応じて3回目の要望も検討。

以上。

【次回開催予定】

役員会開催予定	11月16日	13:00~15:00
班長会開催予定	11月16日	15:30~16:30

※回覧資料を入れる封筒とクリップは使いましをするので次回もってくること。